

多くの人に頼られる診療所でありたい

今回ご紹介する先生は、浜田市内村町の中村呼吸器内科医院・中村 吉秀先生です。

私は島根医科大学へ入学し、卒業後は大学へ入局せずに地元である北九州市の大手町病院で10年間勤務しました。まずはそこで2年間の研修を受けましたが大手町病院は救急病院であったため、救急科として内科系の診療科を全て回り救急専門医を取得しました。研修を終えて自分の専門を呼吸器科と決め、呼吸器科と関連のある大分医科大学へ入局しました。

家が島根県出身であり、義父から浜田市内村町にあった旧花田医院の後継者がいないことから私に声がかかり花田医院を継ぐため、平成10年にこちらへ移住してきました。花田医院で6年ほど勤務し、平成16年に中村呼吸器内科を別の地に開設。開業してから今年で12年目になります。

私はこの地の出身ではないため、知人の医師がおらず不安は大きかったです。浜田医療センターはどういった疾患の患者さんでも受け入れてくださるので、非常に助かりましたし心強かったです。一昔前に浜田医療センターにおられた血液内科の先生と同級生でしたが、それも後から知りました。私が最初に勤務した大手町病院も救急病院であったため、他院から紹介された患者さんを受け入れる側の立場でした。当時、色んな医院からの紹介を診ていた私は「どうしてこんなに重症になってから紹介をするのか」と思っていました。今では患者さんを紹介する側です。逆の立場になって初めて患者さんを送る側の気持ちが分かるようになりました。県外で働いて開業した私にとっては、どんな疾患の患者さんも受け入れてくれる浜田医療センターにはとても感謝しております。

私の理念は地域に根ざした医療をしていくことです。特にこの辺りでは病院や診療所がないため、唯一の診療所となります。外来診療では大分医科大学で気道過敏性の研究をしていたため、喘息患者の治療・診断に力を入れています。また、当院では呼吸器内科専門医を活かしてCT検査、肺の呼吸機能を調べるスパイロメーター、呼吸抵抗を調べるIOS、気道の炎症状態を調べる呼気NO検査など様々な検査を行っています。外来診療の他に午後から在宅訪問も行い、20人程度患者さんを診ています。施設入居のために長期間待つことになる患者さんが多く、その解決策として広島に施設へ紹介する場合も多いようです。しかし私としては、周辺の施設でもっと入居できるようになればと願っています。また、嘱託医として特別養護老人ホームとグループホームの2つの施設へ行っています。こういった施設に入居されている患者さんの健康管理を念入りに取り組んでいます。さらに、毎年6月～7月末まで美川保育園、



美川小学校、浜田市立第三中学校で、児童の健診を行ったりと忙しい日々を過ごさせていただいています。

大手町病院で働いていたときは救急病院だったので「病院のコンビニ」というスタンスで勤務していました。孤独な環境でこれまでと全く違った状況になりましたが、様々な疾患を診るといった意味ではあまり大変さを感じませんでした。今後も、今まで得た経験を活かして「誰でも、どんな疾患でも」診ていきたいと思っています。

インタビューを終えて……………

「休みの日は野球を見ています。なぜか私はカープファンであり、地元のソフトバンクもファンです。今年の日本シリーズがカープVSソフトバンクとなればどちらが勝ってもうれしく思うので期待しています。」と語られた先生からは温厚な人柄が伝わってきました。



中村呼吸器内科医院

院長 中村 吉秀

〒697-1331
島根県浜田市内村町787-8
☎0855-27-4593 FAX0855-27-4595

診療科目／呼吸器内科、内科、小児科
診療時間／毎週月～水、金…8:30～12:00、17:00～18:00、木・土…8:30～12:00
往診 毎週月～水・金…14:00～17:00
休 診 日／木・土曜日午後、日曜日、祝祭日

安心して明るく、笑顔で生活できるように

続いてご紹介する施設は、浜田市田町の訪問看護ステーションそよかぜの丘・所長 中川 理恵さんです。

当訪問看護ステーションは、島根県看護協会立の訪問看護ステーションとして、平成15年4月1日に開所いたしました。事業内容としては、訪問看護事業、居宅介護支援事業(ケアマネジャー業務)の2つの事業を実施しております。開所当初は3名の看護師で活動しておりましたが、現在は看護師11名、事務職員1名の計12名で活動しております。現在契約していただいているご利用者様の人数は75～80名で、6歳～103歳と幅広い年齢の方々にご利用していただいております。活動エリアは浜田市としておりますが、ご依頼に応じ、江津市への訪問も実施しております。ここ近年医療・介護においては、「在宅」での生活を重視し、医療的ケアの必要な方で在宅で療養される方が増えております。その中で、私たち、訪問看護師に求められるのは「医療の視点」と「生活の質の視点」の両方に目を向け、いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護の提供をすることであると感じています。

当訪問看護ステーションは「明るく・温かく・安心感を」をモットーとし活動しております。利用者の皆様やご家族が安心して笑顔で生活していただけることを目標とし、病院や医院の先生方にご指導いただきながら、また、ケアマネジャーの皆様、他各種サービス担当者の方々と連携をとりながらより良いサービスが提供できるよう努めております。

病気や障害があっても安心してご自宅で生活を続けていただくために、訪問看護を活用していただけたら幸いです。とはいうものの、訪問看護がご自宅へ訪問しどのようなことをするのかをご存じない方が多いのではないかと思います。ここで、訪問看護の主なサービス内容について簡単にご紹介させていただきます。

- 病状・障害の観察と看護**：心身の状態を観察し、異常の早期発見や再発防止のための看護を行います。
- 療養生活指導およびご家族等の支援**：日常生活のリズムを整え、食事、排泄、運動など様々な療養上の助言を行い、健康状態の維持・改善を図ります。また、ご家族へ負担無く介護ができるように助言等を行います。
- 服薬指導**：薬の効果や副作用の確認・観察、服薬に関する助言を行います。
- 食事、水分、栄養摂取の管理・排泄ケア**：脱水、栄養障害、誤嚥の危険性や排泄トラブル等を判断し、助言を行います。
- 入浴介助や清拭などの清潔援助**：病状が不安定な方などの心身の状態を観察し、状態に応じた清潔援助を行います。



- 床ずれや創傷の処置**：医師の指示に基づき処置を行います。また、床ずれの予防の相談・助言を行います。
- ターミナルケア**：苦痛の緩和の看護、点滴等の医療処置だけでなくご家族も含めて精神的な支援、医師や介護スタッフなど関係者との連携、緊急時の対応などを行います。
- リハビリテーション**：要介護状態の悪化防止のための機能訓練などを行います。
- 医療機器等の操作援助・管理**：膀胱留置カテーテル、経管栄養、在宅酸素療法、人工呼吸器、人工肛門などを管理すると共に、日常生活の相談・助言や緊急時の対応を助言します。サービス利用等のご希望やご相談がございましたら、お気軽に声をおかけください。

訪問看護師になって3年目と2年目になるスタッフから一言

- 3年目の畑岡看護師より**：看護師としても、人としても未熟者の私ですが、経験豊富な先輩方と、人生の大先輩である利用者の皆様方が丁寧に教えて下さいます。日々精進中です!!
- 2年目の上滋看護師より**：仕事を始めた頃は、不安と緊張でいっぱいでしたが、皆さんに支えられて2年目を迎えることができました。看護師として、かつ人としても成長し、利用者の皆さんが安心して在宅で過ごせるようにお手伝いができたらと思っています。



そよかぜの丘

所長 中川 理恵

〒697-0026
島根県浜田市田町1563
☎0855-25-0182 FAX0855-25-0184

営業時間／平日・・・9:00～17:30
定休日／土・日曜日、祝日、お盆(8/13～8/15)、年末年始(12/29～1/3)
※ただし、随時対応し訪問しています。
※24時間連絡対応可能な体制をとっています。